

| | | | | | |
|--------|-----------------|-----|-----|---------|------|
| 教科(科目) | 芸術(音楽Ⅰ) | 単位数 | 2単位 | 学年(コース) | 4 学年 |
| 使用教科書 | 教育芸術社『MOUSA 1』 | | | | |
| 副教材等 | 啓隆社『Music Note』 | | | | |

1 グラデュエーション・ポリシー及びカリキュラム・ポリシー

| | |
|----------------|---|
| グラデュエーション・ポリシー | <p>①高い学力・幅広い教養・学び続ける姿勢を身に付け、グローバル（地域的・地球的）な視野から社会課題を多面的に発見・考察し、その解決に向けて挑戦・行動・発信する能力を育成します。</p> <p>②高い倫理観、他者を思いやる心、傾聴する姿勢、豊かなソーシャル・スキルを持った人物を育成します。</p> <p>③リーダーシップ・フォロワーシップを身に付け、地域社会・国際社会と協働する態度を育成します。</p> |
| カリキュラム・ポリシー | <p>①中高一貫教育を生かし、高い学力と学び続ける姿勢を身に付ける教育課程を編成するとともに、すべての教科・科目において「深い学び」を実現します。</p> <p>②読書、新聞・図書室の活用を奨励するとともに、体験活動を取り入れた教育課程により、幅広い教養を育みます。また、探究の過程を重視するとともに、最新の教育方法を積極的に活用します。</p> <p>③4技能をバランスよく育成する英語授業を実践するとともに、「生きた英語」を学習する機会としての海外研修やさまざまな発表活動に取り組みます。また、積極的に国際交流活動にも取り組んでいきます。</p> <p>④アイデンティティを形成しつつ地域理解を深め、地球的視野で自分なりの社会課題を発見し、科学的な手法を用いてその解決を目指す課題研究を6年間通じて実施します。</p> <p>⑤6年間一貫した方針による道徳や人権教育等を実施するとともに、生徒会活動、部活動、課外活動を通して、主体的・自律的に考え行動し、互いに支え、高め合いながら協働的に活動することを重視します。</p> |

2 学習目標

| |
|--|
| <p>音楽の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と幅広く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 自己のイメージをもって音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴くことができるようにする。</p> <p>(3) 主体的・協働的に音楽の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。</p> |
|--|

3 指導の重点

| |
|---|
| <p>①仲間と一つの音楽を作り上げる活動を通して、協調性を育てます。</p> <p>②様々な作品に触れることで音や音楽への興味・関心を養い、音楽によって生活を明るく豊かなものにする態度を育てます。</p> <p>③多様な音楽表現のよさや美しさを感じ取り、基礎的な表現の技能を身に付け、創意工夫して表現する能力を育てます。</p> <p>④多様な音楽のよさや美しさを味わい、幅広く主体的に鑑賞する能力を育てます。</p> |
|---|

4 評価の観点の趣旨

| 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
|--|--|---|
| <p>・曲想と音楽の文化的・歴史的背景の関わり及び音楽の多様性などについて理解を深めている。</p> <p>・創意工夫などを生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱、器楽、創作などで表している。</p> | <p>・音楽を形作っている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように表すかについて表現意図を持ち、音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴いたりしている。</p> | <p>・音や音楽、音楽文化と豊かに関わり主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。</p> |

5 評価方法

| | | | |
|------|---|--|---|
| | 評価は次の観点から行います。 | | |
| | 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
| 評価方法 | 以上の観点を踏まえ、 ・授業内での小テスト ・実技テスト ・成果発表 ・提出物 などから、評価します。 | 以上の観点を踏まえ、 ・授業中の発言、発表の取り組み ・創作での工夫された取り組み ・小テストや、実技テスト などから、評価します。 | 以上の観点を踏まえ、 ・授業中の取り組み方、歌唱や器楽での姿勢 ・課題の提出 などから、評価します。 |
| | 内容のまとまりごとに、各観点「A：十分満足できる」、「B：おおむね満足できる」、「C：努力を要する」で評価します。 内容のまとまりごとの評価基準は授業で説明します。 | | |

6 学習計画

| 月 | 単元名 | 授業 時数 | 教材名 | 学習活動(指導内容) | 評価方法 |
|---|---------|----------|-----------------------------|--|----------------|
| 4 | 発声基礎 | 2 | | ・発音法、発声法、歌唱法により、曲にふさわしい歌い方や、身体の使い方などの技能を学ぶ。 ・歌唱能力及び音程を鍛え、リズム感を養う。 | 課題の提出 実技テスト |
| | ソルフェージュ | 1 | ソルフェージュ コンソネ | ・音符、休符や音階、調等を学ぶ。 ・1～3年で親しんだ曲をより深く味わう。 | |
| | 楽典 | 1 | Music Note | | |
| | 歌唱(1) | 2 | 校歌 「翼をください」他 | | |
| 5 | 歌唱(2) | 4 | 「負けなで」 「Lemon」 | ・リズムの特徴を生かし、曲の雰囲気合うように又、曲想と歌詞との関わりを理解して歌う。 ・アーティキュレーションを身に付ける。 | 発表 |
| | 器楽(1) | 4 | 「天国と地獄」 「coffee」他 | ・共演者の音を聴き合いながら、輪奏や二重奏をする。 | |
| 6 | 歌唱(3) | 3 | 「見上げてごらん夜の星を」 | ・二重奏の重なり合いを感じ取り、発音、子音を意識して歌う。 | 実技テスト |
| | 器楽(2) | 1 | 「見上げてごらん夜の星を」 「ザナルカンドにて」 | ・共演者の音に耳を傾けながら、アンサンブルをする。 | 発表 |
| | | 3 | | ・曲のイメージに合った二重奏をする。 | 実技テスト |
| 7 | 器楽(3) | 5 | 「星に願いを」 | ・ハンドベル奏法を身に付け互いの音をよく聞き合い、一体感のある演奏をする。 | 発表 |
| | 歌唱(4) | 1 | 「Memory」 | | |
| 9 | 歌唱(4) | 3 | 「Memory」 | ・拍子や調の変化を感じ取り、英語の語感を生かして歌う。 | 実技テスト |
| | 器楽(4) | 3 | 「Caromioben」 | ・リズム、旋律、強弱などに注目し表現を深める。 | |
| | | 4 | 「第三の男のテーマ」 | ・ギター奏法を身に付け、メロディーと伴奏に分かれてアンサンブルする。 | |

| | | | | | |
|----|------------------|--------|------------------------|---|-------|
| 10 | 器楽 (5) | 4 | 「少年時代」 | ・弦をしっかり押さえてメロディー奏を演奏する。 | 実技テスト |
| 11 | 器楽 (6) | 4 | 「サザエさん」 他 | ・ドラムの奏法を覚え、8ビートをする。 ・曲に合わせて歌とドラム演奏をする。 | 発表 |
| 12 | 創作 (1) 歌唱 (5) | 5 4 | 「クリスマスイブ」 「クリスマスイブ」 | ・音のつなげ方やフレーズのまとまりに気を付けてリズムを工夫し8小節の旋律をつくる。 ・歌詞に描かれている情景や心情と曲想の関わりを理解して歌う。 | 提出 |
| 1 | 器楽 (6) | 6 | アンサンブル | ・編成やメンバーを組み、各グループで選曲、構成、編曲し演奏する。 | |
| 2 | 器楽 (6) | 6 | | ・共演者の音を聴き合い、より良い演奏にする。 | テスト |
| 3 | 器楽 (6) | 4 | | ・発表に向けて演奏する。 | 発表 |

計70時間 (50分授業)

7 課題・提出物等

- ・ワークの提出があります。
- ・グループ発表があります。
- ・創作 (旋律) の提出があります。

8 担当者からの一言

器楽を演奏する楽しさ、難しさを感じるとともに、他人と共に一つの音楽を作り上げる楽しさがわかる人になってほしいと思います。また、皆さんが普段耳にするようなJ-POPや、初めて出会う曲を通して歌うことの楽しさを体感してほしいと思います。(吉田)

